

生活お助けグッズ ～1人で食べるために～

今年度は楽な介助の方法をお伝えしていましたが、今月はちょっと寄り道をして「生活お助けグッズ」をご紹介します。
麻痺で動きづらくなったり、ケガをするとご飯を食べるのが大変…。
そんな時に活躍する道具です！自分で食べれば美味しさ倍増♪



(1) バネ付き箸



適応

- ・利き手ではない手で箸を持つ人
- ・麻痺があって箸を上手く使えない人

手の細かい動きが
難しくても、
物をはさみやすい

(2) 太柄スプーン



適応

- ・握力が弱い人
- ・指の関節が固くなっている人

スポンジを
差し込む

柄が太くて
持ちやすい

(3) すくいやすいお皿



適応

- ・普通のお皿では、すくう際にこぼしてしまう人

食べ物をすくう際
こぼれにくい

(4) 滑り止めマット

この上にお皿を
乗せると滑りにくい

適応

- ・麻痺やケガの影響で、お皿を固定することが難しい人



※他にも様々な種類の道具があります。興味のある方はお気軽にご相談下さい。



9月13日に開催された「みやこわくわくまつり」にて、宮古地区のリハビリ職員と一緒に体力測定や、運動の指導を行いました。子供からお年寄りまで、沢山の方が参加して下さいました。



9月16日には、宮古市社協ホームヘルプサービスセンター研修会に、「リフレッシュ体操」の講師として参加させて頂きました。腰痛予防や尿漏れ対策の運動を行いました。

